



:。*

*:☆: 大阪府細胞検査士会 メールジャーナル

:。

2023年11月号

.:*:☆:。



:☆★:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*

【目次】

◆ 1 <お知らせ>

◆ 2 <会員コラム>

大阪南医療センター 臨床検査科
新井 健史

◇ 編集後記

深田 知也

:★☆:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*

☆ ~~~~~

★ ◆ 1 <お知らせ>

☆ ~~~~~

★ 1) (締切間近) 令和5年度 ワークショップ(大阪府細胞検査士会主催)のお知らせ

☆ 2) 第 48 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会開催(日本臨床細胞学会近畿連合会主催)のお知らせ

★ 3) 病理細胞診特別講習会(大臨技主催)のお知らせ

1) (締切間近) 令和5年度 ワークショップ(大阪府細胞検査士会主催)のお知らせ

日時:(講義) 令和5年 11 月 25 日(土) 13:30~15:30
(実習) 令和5年 11 月 26 日(日) 10:00~13:00

会場:(講義) Webex によるウェビナー開催
(実習) 大阪医科薬科大学 講義実習棟 3 階 大実習室

参加費:(講義のみ) 無料

*大阪府細胞検査士会会員にはクレジット付与、非会員には付与
いたしません

(実習あり) 1,000 円

定員:(講義) なし / (実習) 50 名

申込期限:令和5年 11 月 21 日(火) 24:00 まで

プログラムや申し込み方法の詳細につきましてはお手数ですが、当会 HP
をご参照ください。

<https://www.osaka-cytology.com/cont8/main.html>

2) 第 48 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会開催(大阪府臨床細胞学会主催)のお知らせ

日時：2023年12月10日(日)

会場：大阪市中央公会堂＋事後オンデマンド配信

※オンデマンド配信期間 12月18日(月)～2024年1月9日(火)

申込期間：【クレジットカード決済の場合】2023年10月30日(月)～2024年1月9日(火)

【銀行振込の場合】 2023年10月30日(月)～2023年12月6日(水)

プログラムや申し込み方法の詳細につきましてはお手数ですが、下記URLよりご参照ください。

<http://jscek48.umin.jp/registration.html>

3) 病理細胞診特別講習会（大臨技主催）のお知らせ

唾液腺腫瘍は頻度が少ない一方で多くの組織型や亜型が存在し、多彩な組織像を示すことから診断に難渋する領域の一つです。ルーチンではなかなか経験できない症例も多い分野であり、苦手意識を持たれる方も多いのではないのでしょうか。今回は東京医科大学の長尾先生をお招きしてご講演をいただきます。唾液腺腫瘍の病理組織診断について学べ、若手からベテランまでルーチン業務に役立つ内容となっています。ZoomによるWeb講習会ですので自宅や職場から視聴可能です。皆様、奮ってご参加ください。

内容：「唾液腺腫瘍の病理診断」

東京医科大学 人体病理学分野 主任教授 長尾 俊孝

日時：2023年12月15日(金) 19:00～20:30

会場：Web開催(Zoomを用いたライブ配信)

評価点：専門教科：20点

参加費：会員500円、非会員1,000円

定員：100名(先着順)定員になり次第終了します。

申込期間：2023年11月24日(金)～12月9日(土)

申込方法：2023年12月15日(金)19:00～2023年12月15日(金)20:30 Zoom開催

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02fyp5cb5ad31.html>

★ ~~~~~

☆ ◆ 2 <会員コラム>

★ 「贅沢の呪い」

☆ ~~~~~

★ 大阪南医療センター 臨床検査科
新井 健史

気づけば今年も残すところ1か月と少しとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？年末になればクリスマスやお正月と様々なイベントがあり、普段よりも贅沢をなさる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？今回はそんな贅沢についての話をしたいと思います。

私は子供の頃から味付け海苔が好きで、ほぼ毎日のように食べていました。体に悪いわけでもなく、また大量パック売りの安い海苔だったこともあり、両親も特に咎めることはありませんでした。時が経ち、大人になってからも変わることなく海苔を毎日のように食べていた私は、ふるさと納税でいつもと違う徳島県産の少し高級な海苔を見つけ、どうせいつも食べるものだし保存もきくからと、ほんの軽い気持ちで高級海苔を注文しました。届いた数本の海苔の入れ物を見るからに高級そうで、一口食べた瞬間パリッパリの食感に鼻に抜ける磯の風味、そして抜群に白米と相性の良い塩味と旨味、いつもの海苔と全く別物であることを一瞬で理解し、それからは家に帰ってご飯を食べるたびに幸せを噛みしめていました。しかし、毎日毎日食べていたため高級海苔は2か月程度で底をつきました。当初は高級海苔が無くなっても前と同じ安価な海苔を食べればいいやと、軽く考えていましたが、いざ久しぶりに安いパック海苔を食べると「美味しくない！なんだこれは！全然味がしない！」

私の舌は見事に肥えていました。結果として、子供の頃からあれほど毎日食べていた海苔をあまり食べる事が無くなり、だからと言って高級海苔を頻繁に買うこともできず、年が明け再びふるさと納税で海苔を注文できるようになるまで、ただただ空になった高級海苔の入れ物を眺めながら白米を食べる毎日を過ごしました。

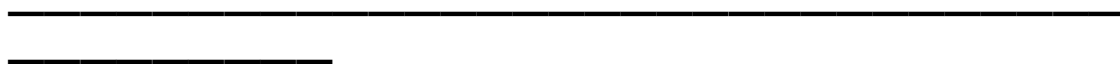
人間は一度生活水準を上げてしまうと、なかなか以前には戻れません。皆さんも、この年末、贅沢をする際には十分にお気を付け下さい。それでは、良い年末を。



— ◆◆ 編 集 後 記 ◆◆ —

深田 知也

一気に肌寒くなり冬の始まりを感じる今日この頃ですが、先日静岡県へ旅行へ行ってきました。天候に恵まれ富士山を鮮明に見ることができ、非常に満足でした。その日本一の圧巻の姿を眺めながら一番低い山ってどこにあるんだろうと疑問に思い、調べてみるとはっきりとした答えはみつけれませんでした。それもそのはず「山」の定義がないため各地で我こそが一番低い山だと「マウント」合戦が繰り広げられているようです。



2023年11月20日

※メールジャーナル登録アドレスの変更や問い合わせ等につきましては、下記メールアドレスへご連絡ください。

osakaactshomubu@gmail.com

※メールジャーナル関係以外の問い合わせにつきましては、大阪府細胞検査士会事務局あて下記メールアドレスへご連絡ください。

osaka-kensashi@osakacity-hp.or.jp